

# 国際原子力エネルギー協力フレームワーク（IFNEC） 運営グループ会合の結果概要について

令和3年6月23日  
内閣府  
原子力政策担当室

令和3年6月22日にIFNEC運営グループ会合が、オンライン会合にて開催されたところ、以下のとおり、結果概要について報告する。

## 1. 会合日程・場所

- (1) 会合日時：令和3年6月22日（火）20:00-23:00（日本時間）
- (2) 会合場所：オンライン会合（ZOOM利用）

## 2. 参加国・国際機関

### (1) 参加国（22カ国）

アルゼンチン、アルメニア、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、エジプト、フランス、ガーナ、イタリア、日本、ヨルダン、ケニア、韓国、ポーランド、ルーマニア、ロシア、シンガポール、スロベニア、ウクライナ、英国、米国

### (2) オブザーバー国際機関（3機関）

EC(欧州委員会)、IAEA(国際原子力機関)、OECD/NEA(経済協力開発機構／原子力機関)

### (3) 主要参加者

- ・ 運営グループ議長：アレシア ダンカン DOE 次官補代理（米国）
- ・ 運営グループ副議長：覚道 科学技術・イノベーション推進事務局審議官（日本）  
Ken Gi Jyun 氏（シー 国家能源局原子能司副司長代理）（中国）  
アルチシュク ロスアトム技術アカデミー副学長（ロシア）  
ジュマ ケニア原子力発電委員会最高経営責任者（ケニア）  
デルーチ 財務省原子力政策課長（アルゼンチン）

## 3. 会合結果

### (1) ダンカン・新運営グループ議長からの報告

- ・ 2021年IFNECの目指すゴールの一つとして、ToR(Terms of Reference)に言及。変更の内容は財政的貢献、任期期間、Executive committee meeting など。
- ・ アウトリーチ活動について、常時出席のない約40カ国に広く出席、意見、サポートを呼びかける。ホームカミングイベントについて、過去のリーダーシップ（前議長含）を招いてWebイベントを開催予定。
- ・ 日本から始まったメンタリング・ワークショップは、次回、ケニアでWeb開催予定。

### (2) 各副議長からの発言

デルーチ氏（アルゼンチン）

- ・ 提案されているSGの構造改革には賛成。これによってIFNECメンバーの専門知識・経験を活かし、これまで外部組織と築いてきた関係を今後は持続可能性のある組織へと発展させ、アジェンダ項目を実現していきたい。

Ken Gi Jyun 氏（中国シー副司長代理）

- ・ アフリカでのSMR需要が増々高まる中、利点、問題点等、いろいろな方面での討議が必要。原子力分野で2017年より行っている海外からの奨学生制度を例に、中国がグリーン・エネルギーへの関心が高く、その結果、原子力エネルギーの重要性が増々認識されるべきと発言。

覚道審議官（日本）

- ・ 副議長着任後初のSG会議参加挨拶。今後の抱負（原子力ファイナンスに関する活動のサポート等）、ToRの内容には概ね同意ではあるが、経済的支援と大臣出席（Executive

Meeting) に関しては熟考する予定と発言。

ジュマ氏 (ケニア)

- ・ アフリカからの IFNEC 参加国を増やすために、先に述べられたアウトリーチ・キャンペーンは重要になる。メンタリング・ワークショップは次の世代にバトンを渡すためにも今後とも続けていきたい。

アルチシュク氏 (ロシア)

- ・ IFNEC に経済的支援は必須であり、支援の規模を拡大させる必要がある。開催予定の科学に関する国内イベントに関して言及。

(3) 世銀に関する報告 (マグウッド事務局長)

- ・ 2019 年以降 IFNEC と世銀は、経済的にどのように協力しあえるかを模索するため両者間で会議を重ねてきた。先方の役員や VP、IFNEC メンバーの国々 (米、仏、ルーマニア、ジョーダン、クエート等のリーダー) と討議の場を持った。当初世銀はある程度の興味も示したが、原子力に対してセンシティブな世界的風潮、行内での構造変化、更にコロナ禍が追い打ちをかけ、今年 2 月に集中して行われた両者間での会議等の感触から、世銀は原子力融資への態勢が整っていないものと考えられ、当面様子を見ることとする。

(4) 事務局からの報告 (グローリア・ウォン技術事務局長)

- ・ ToR (改訂版) の説明
- ・ 2021 年 6 月に行われたウェビナー (NPPES2021) の報告
- ・ 2021 年 6 月 30 日の FNCA 会議へウォン技術事務局長が参加予定
- ・ 広報関係、ソーシャルメディアにおける IFNEC のプレゼンスなどについて報告

(5) 作業部会からの報告

RNFSWG (Sean Tyson 氏, Tomaz Zagar 氏)

- ・ IDWG との共同 Webinar とワークショップを開催予定 (2021 年 9 月~10 月)。テーマは「バックエンドと原子力エネルギーの持続可能性への先端燃料サイクルについて」
- ・ 先端原子炉システムに関する共同ワークショップ (2022 年 5 月開催予定)
- ・ ロシア主催で 3 度目の Webinar を 9 月~10 月で開催予定。テーマは世界の原子力発電の持続可能な開発を支援するための先端燃料サイクル
- ・ ロシア、事務局共同で次回のソチ ATOMEXPO において IFNEC からの参加を予定

IDWG (Zbigniew Kubacki 氏, Mike Goff 氏)

- ・ IAEA との会議、プレゼンテーションを引き続き行う。
- ・ ファイナンス Webinar (2021 年 5 月 18 日) は成功。今後の更なる発展も見込める。
- ・ SMR の審査に関するセミナーを米で開催予定 (2022 年 5 月 17-19 日)。
- ・ 原子力ファイナンスに関して契約提携のために世銀をはじめとした IFI への働きかけを引き続き行っていく。そのために NEA と共同でセミナー等を開催する。

NSCCEG (Facundo Deluchi 氏, Ken Gi Jyun 氏 (シー共同議長代理)、覺道審議官)

- ・ MSCCWG 活動全般の報告。
- ・ NSCCEG 会議を開催 (2021 年 3 月) 2021 年のプラン作成。
- ・ 2021 年後半の SMR ワークショップと Nuclear power and carbon neutrality に関する Webinar 開催。
- ・ 国際機関と連携したアプローチ (FNCA) を行う。

(6) ゲストスピーカーによる講演

Department of Business, Energy & Industrial Strategy (英) Chris Bowbrick 氏

- ・ 英国における原子力エネルギーの現状 (旧、新炉の状況説明)、2021 年 11 月英グラスゴーで開催される COP26 (「国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議」) の取組みについて説明があり、会議で与えられている課題への取組みの具体的な内容に触れた。

4. 添付資料 : 2021 年 6 月 IFNEC 運営グループ会合アジェンダ



## STEERING GROUP VIRTUAL MEETING

22 June, 2021, 13:00-15:30 CEST

Registration link:

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZEtdemoqDggGtX8gnMnQsiCwKp01EilWghA>

- |               |  |
|---------------|--|
| 13:00 – 13:05 | 1. Opening Remarks: <b>Aleshia Duncan</b> , SG Chair [5 min]<br><i>List of Countries for Roll Call</i>   |
| 13:05 – 13:35 | 2. Report from the SG Chair [30 min] <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Review IFNEC’s 2021 goals</li> <li>▪ Terms of Reference</li> <li>▪ Overview of key changes – structure, operating procedures, etc.</li> <li>▪ Engagement with IFNEC inactive countries</li> <li>▪ Outreach activities &amp; schedule</li> <li>▪ IFNEC Homecoming</li> <li>▪ IFNEC webpage update</li> <li>▪ NEA/IFNEC Mentoring Workshop: <b>A. Duncan/Collins Juma</b></li> </ul>   |
| 13:35 – 14:00 | 3. Statements from the Vice-Chairs [5 min each] <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Facundo Deluchi (Argentina)</li> <li>▪ Shi Li Shan (China)</li> <li>▪ Takafumi Kakudo (Japan)</li> <li>▪ Collins Juma (Kenya)</li> <li>▪ Vladimir Artisyuk (Russia)</li> </ul>  |
| 14:00-14:10   | 4. Engagement with the World Bank - update: <b>DG. Magwood</b> , NEA [10 min]  |
| 14:10-14:30   | 5. Report from Secretariat: <b>G. Kwong</b> [20 mins] <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Completion of the Revision of the IFNEC Terms of Reference</li> <li>▪ IFNEC 2021 survey results: G. Kwong/ NEA</li> <li>▪ Recent and upcoming activities: 2021 webinars, NPPES 2021</li> <li>▪ Publications: <b>G. Kwong/C. Bonnay/J. Bal/A. Ramaswamy</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Vision &amp; Strategy</li> <li>▪ 2019 Ministerial Conference Report</li> <li>▪ Social Media</li> <li>▪ IFNEC Brochure</li> <li>▪ Spring Newsletter</li> </ul> </li> </ul> |

- 14:30 – 15:15
6. Updates from Working Groups:
- i. Reliable Nuclear Fuel Safety Working Group (RNFSWG): **Tomaz Zagar, Sean Tyson, Vladimir Artisuyk** [10 min]
  - ii. Infrastructure Development Working Group (IDWG): **Zbigniew Kubacki, Mike Goff** [10 min]
  - iii. Nuclear Supplier and Customer Countries Engagement Group (NSCCEG): **Shi Lishan, Takafumi Kakudo, Facundo Deluchi** [10 min]
  - iv. Questions & discussion [15 min]
- 15:15-15:25
7. Planning of IFNEC involvement at COP26: **Benjamin Shingler**, [10 min]
- 15:25 – 15:30
8. Other Business
- 15:30
- Adjournment: **A. Duncan**